

こまごました試験キットをコンパクトにまとめました！

フロー試験キット

便利な
ALL IN ONE!



簡易テーブルフロー試験

JASS 15M-103 準拠 / JHS313-1999 準拠

無収縮モルタルの柔らかさの指標である簡易テーブルフロー試験は、使用水量により変化します。流し込み用の無収縮モルタル（グラウト材）では、通常はJロートによる流下時間を測定します。

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築改修工事監理指針（平成19年度版・（財）建築保全センター）では、Jロートによる流下時間の測定に加えて、**フローテーブルによるフロー値（広がり）を測定することを推奨**しています。この理由は、流下時間の測定では、タイマーのスタート・ストップや流下終了の判断に、測定者による多少の誤差があること、フロー値の測定では、広がり状態を写真による記録として、明示できるからです。

フロー試験キットの内容一覧

- プラスチックコンテナ
- 強化ガラス板
(厚さ5mm×400×400)
- レベル調整用クサビ
- フローコーン3種
50φ×51h セルフレベリング用
80φ×80h エアーモルタル用
50φ×100h 無収縮モルタル用
- その他付属品
 - ・水平器
 - ・コンベックス(メジャー)
 - ・計量カップ
 - ・タイマー
 - ・ワイパー
 - ・ヘラ



※商品の仕様、色は予告なく変更になる場合がございます。

フロー試験の手順

※試験場所は**振動**がなく、**平らな場所**で実施してください。

※本試験は建築改修工事指針 平成19年度版（下巻）によります。

①ガラス表面の清掃



乾いたタオルでガラス表面を拭いて乾燥状態にして下さい。

②ガラス板の水平確保



水平器と調整クサビを用いて水平を確保して下さい。

③スラリーの流し込み



容器上面までスラリーを注いで下さい。
※容器はφ50×高100mmです

④容器の引き上げ



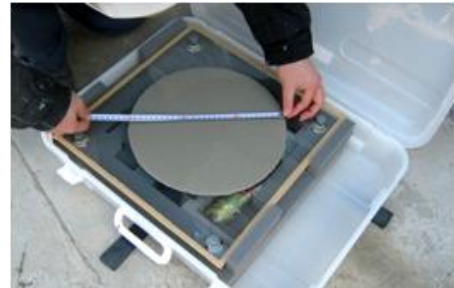
ヘラを用い、スラリーを掻き出して下さい。

⑤静置



容器を引き上げ後、蓋をして3分程度静置します。

⑥フロー値の測定



2直角で測定し、平均値を求めてください。

⑦ガラス板の清掃



試験終了後は速やかに試験器具を水洗いして下さい。

⑧試験完了



試験器具を所定の位置に収納して下さい。

■ 関連商品 ■

圧縮強度試験用簡易型枠 **テクニカルピース**



50φ×100 L 120個/箱

再生品の特性上、予告なく色が変わる場合がございます

※(財)建材試験センターにより、品質性能試験報告書を取得済みです。

★カタログ記載データは、当社の試験データであり、製品の性質を絶対的に保証するものではありません。

また、製品の誤った使用による損傷・損害については責任を負えません。

株式会社トリスミ

建設業許可 東京都知事 許可(般-3)第154073号

〒175-0094 東京都板橋区成増 2-10-26 ダイヤビル 4F

TEL 03-5383-4592 FAX 03-5383-4593

メールアドレス info@torisumi.co.jp

ホームページ <http://www.torisumi.co.jp>

取扱商品

- ・土木(道路/河川) 資材
- ・インフラ関連資材
- ・耐震/免震 他各種工事
- ・コンクリート製品関連
- ・節電/リサイクル/エコ
- ・建築/住宅関連資材
- ・シート/養成シート類
- ・試験機器
- ・防錆材/耐熱塗料
- ・安全用品
- ・セメント/ロックウール